

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和3年4月末現在
男 16,030人
女 16,905人
総人口 32,935人
世帯数 13,460世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレフォンサービス
☎ 0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.106 ヤドリギ
(ビャクダン目 ビャクダン科)

学名 *Viscum album* L. subsp. *coloratum* Kom.

写真・文 安 昌美

▼ヤドリギとは

ヤドリギは、「宿主」あるいは「寄生木」と表され、文字通り寄生植物です。名前は聞いたことがあっても、実際に見ることは少ないと思います。これまではヤドリギ科とされていましたが、新しい分類体系ではビャクダン科に含まれました。日本にはヤドリギ一種のみで、北海道から九州に分布し、さらに朝鮮半島、中国、ウズベキスタンにまで知られています。写真は今年3月に涸沼近くで撮影したもので、落葉樹のエノキにたくさんの個体が寄生しています。エノキなどの宿主が葉を落とす冬の時期に目立ちます。

▼寄生植物と宿主の関係
寄生植物は、宿主から水や養分を奪って生活をします。自分では光合成を全く

二股に分岐し、成長すると径が30cm以上の球状になります。一年に一節分伸びるとされ、花は枝の先端につき、果実は液果で淡黄色または薄い橙赤色に熟します。高いところにも多く、観察もよくできませぬ。果実はレンジャク類などの鳥によって食べられますが、種子の周りは粘るものに覆われ、消化されずそのままふんに混ざります。お尻肌につくとそこで発芽し、寄生を開始するとされます。地面に落ちてしまっても発芽できませぬ。ヤドリギも大変なのです。

せず、全て宿主に依存して生きている植物を「絶対全寄生植物」といい、ネナシカズラやナンバンギセルがその例です。ヤドリギは光合成をしますが、寄生しなければ生きていけないので「絶対半寄生植物」にあたります。また、自身で光合成をし、独立して生きることも可能でありながら、宿主が近くにいれば寄生をする植物は「条件的半寄生植物」とされ、コシオガマやシオガマガクが挙げられます。

ちびっ子アート 長岡幼稚園



「げんきにおよぐ こいのぼり」

おの えいじ (5歳)



やまだ いぶき (5歳)